

平成26年 第22回帯広市教育委員会会議録

1. 平成26年10月28日火曜日 10時30分～ 12時30分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田 中 厚 一
教育委員	市之川 敦 子
教育委員	伊 藤 成 昭
教 育 長	八 畝 祐 子

3. 本日の議事日程

- | | |
|-------|--|
| 日程第 1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第 2 | 議案第 65 号 平成27年度帯広市立高等学校の入学者募集について |
| 日程第 3 | 議案第 66 号 平成26年度市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定について |
| 日程第 4 | 報告第 23 号 ジュニア文芸第5号応募結果について |
| 日程第 5 | 報告第 24 号 平成26年度第54回帯広市児童生徒読書感想文コンクールの
入選者について |
| 日程第 6 | その他(1) 帯広市議会9月定例会の報告について
その他(2) 今後の事業予定について
その他(3) 寄附受納について
その他 |
| 日程第 7 | 議案第 67 号 教職員の処分内申について【秘密会】 |

田中委員長

これから、平成26年第22回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

門屋委員から欠席の申し出を受けているため、出席委員は4人です。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(服部課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、市之川委員及び伊藤委員を指名いたします。

日程第2、議案第65号、平成27年度帯広市立高等学校の入学者募集についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

嶋崎 部長

議案第65号、平成27年度帯広市立高等学校の入学者選抜につきまして、募集人員などを定めようとするものであります。本案は道立高等学校の入学者選抜実施要項が定められた旨の通知を受け、同様に帯広市立南商業高等学校入学者の募集内容を定めるものであります。よろしくご審議お願い申し上げます。

これから質疑に入ります。

田中委員長

ありません。

各 委 員

別になければ、質疑を終結します。

田中委員長

お諮りいたします。議案第65号、平成27年度帯広市立高等学校の入学者募集については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第65号は決定されました。

日程第3、議案第66号、平成26年度市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

議案第66号、平成26年度市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定についてご説明申し上げます。議案書は3ページでございます。本件は平成26年度市民文芸賞及び市民文芸準賞について、帯広市市民文芸誌に関する規則第3条の規定に基づき、決定しようとするものでございます。推薦作品の選考につきましては、9月19日に帯広市市民文芸誌編集委員会を開催し、応募者のありました100名の方の1,285作品について編集委員が選考を行いましたところ、今年度につきましては、市民文芸賞及び市民文芸準賞のどちらについても、該当作品はなしというご意見をいただいたところでございます。こうしたことから、該当作品なしとして決定しようとするものでございます。なお、同時に選考いたしました入選につきましては、議案書4ページに掲載のとおり、78名の作品を市民文芸第54号

に掲載をいたします。このため11月30日に予定しておりました贈呈式は行わず、市民文藝第54号発刊を祝う会のみ開催する予定としております。説明は以上でございます。

田中委員長

これから質疑に入ります。

1点だけ私から質問します。市民文芸賞及び市民文芸準賞は該当者なしということは、編集委員の意向なのでそれはいいのですが、例年の基準でいうと全くだめだったのか、いいところまでいていたのか、2年続けて該当者なしというのは厳しいものがあると思いますので、どのような選考委員会だったのか教えていただければと思います。

本江 館長

9月19日に1名所要により欠席いたしました。選考委員会を行った際に市民文芸賞準賞に推薦したいという作品はそれぞれの委員から何点がございました。規定には書いてございませんが、委員が全員推薦に賛成するという場合に市民文芸賞準賞にしようということで進めてまいりまして、推薦する委員が作品の良さについて優れているところや斬新なところをお話いただいて、皆さんの意見をもう一度お聞きして協議を行いました。評価について意見が全員一致に至らず、今回は受賞者なしということになりました。作品的には素晴らしいというご意見もあったのですが、全員一致には至らなかったということでございます。

田中委員長

全員一致が原則ですね。

本江 館長

はい、そうです。

市之川委員

入選者数についてお伺いしますが、応募者数100名でその8割が入選という結果は多いような気がしますけれど、優れた作品が多かったからこういう結果なのだと思いますが、例年このくらいの入選者数なのではないでしょうか。

本江 館長

各委員の担当の分野を個々に評価しまして、全員で入選に値するかどうかという評価をしております。人数が多くなりましたのは、詩から下の短歌、俳句、川柳については、全部の作品を入選とするかしないかではなくて、応募のあった作品の中から入選に値する作品を入選としております。全部を1つとして評価するのではなくて、個々1首1首を作品として評価させていただいて入選を決定しているということでございます。

田中委員長

他になれば、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第66号、平成26年度市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第66号は決定されました。

日程第4、報告第23号、ジュニア文芸第5号応募結果について

を議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

報告第23号、ジュニア文芸第5号応募結果についてご説明いたします。議案書6ページをご覧くださいと思います。ジュニア文芸第5号の発刊にあたりましては、本年6月1日から10月10日まで作品の募集を行ったところでございます。2の応募状況のとおり、268名から293作品の応募がありました。応募者数、応募作品数につきましては、当事業開始以来一番多い数字となっております。内訳としましては、童話の応募が120作品と全体の約40%を占め、小説が昨年の69作品から8作品と減っている一方で、昨年1作品でありました俳句が76作品と急増しております。今後の日程につきましては、11月29日のジュニア文芸実行委員会におきまして、入選作品及びジュニア文芸賞の決定し、来年2月22日に贈呈式などを予定しております。説明は以上でございます。

田中委員長

これから質疑に入ります。

小説が69から8に減って、童話が47から120に増えたという数字の事実があるのですが、これはどういうことが理由にあるのでしょうか。恐らく指導者、小学校や中学校の先生のご指導によって、童話の数が増えたと見るのか、そうすると小説が激減するのは不思議だと思ったものですから。

本江 館長

委員長がおっしゃいますとおり、先生の指導が大きく影響しております。(3)の学校別応募作品数をご覧くださいと思います。四中が88、稲田小が112ということで、応募数のほとんどを占めております。先生の指導により、クラスや学年で取組んで応募していただいております。小説と童話の数字の違いですが、先生によって応募する分野の分け方が違いまして、昨年は小説という判断、今年は童話と判断ということがありまして、明確な違いがなく、担当とお話した際に、明らかに主人公が動物や人間ではない場合は童話とする扱いとしますが、それ以外は応募してきたジャンルで区分けするというところでございます。そういった点から違いがでてきたものと思われまして。それから、俳句・短歌につきましては、募集中に俳句、短歌や童話教室、感想文教室などを行っております。それを受けた子どもたちが興味を持ってくれて増えたということもあると思います。

伊藤 委員

1つお伺いします。応募する学校や個人が増えてうれしいことだと思います。ジュニア文芸第5号をこれから発刊すると思いますが、応募した児童生徒や学校には送られると思いますが、市内、あるいは管内小中学校に配付され、啓蒙されているのかどうかお聞きします。

本江 館長

配付先については、市内小中学校はもとより、管内の小・中学校、

高校に配付させていただいております。

伊藤 委員
本江 館長

1校につき何冊くらい配付していますか。

各管内小・中学校・高校に1冊ずつ図書館宛に送らせていただいております。

伊藤 委員
田中委員長

できれば小・中学校の学年に1冊くらいあればと思います。

確か星槎大学との共催だったと思いますので、そのような要望を伝えていただければと思います。

本江 館長

星槎大学様からの事業で実施されますのは、今年度の5号をもって終了と伺っております。これから先につきましては、今、内容等について検討してございますので、その中で配付等について協議してまいります。

田中委員長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第5、報告第24号、平成26年度第54回帯広市児童生徒読書感想文コンクールの入選者についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大久保部長

報告第24号、平成26年度第54回帯広市児童生徒読書感想文コンクールの入選者についてご報告いたします。議案書7ページからとなりますが、初めに12ページの参考資料をご覧いただきたいと思っております。本コンクールは昭和34年に市内の学校図書館と帯広市図書館の相互発展を目指して設立されました帯広市学校公共図書館研究会が設立の翌年の昭和35年より毎年実施しているもので、今年で54回目を迎えます。9月5日まで市内小中学生を対象に募集を行い、小学校14校、80名、中学校8校、31名、合計22校、111名の応募がありました。この度、応募作品を審査いたしました結果、8ページから11ページに名簿がございますとおり、57名の入選者が決まりましたのでご報告するものでございます。今後の日程につきましては、11月29日に表彰式を帯広市図書館において開催する予定でございます。報告は以上でございます。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第6、その他に入ります。

その他(1)帯広市議会9月定例会の報告についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

野原調整監

帯広市議会9月定例会における教育委員会に関する質疑のうち、私の方から学校教育部に関する質疑の概要についてご報告させていただきます。議案書13ページからでございます。今回、一般質問20名中10名、決算審査特別委員会13名中7名の議員からご質問がございました。はじめに、一般質問では、鈴木仁議員に学校や

教員が担う役割や保護者・家庭教育が担う役割のほか、全国学力調査の結果公表について、これまでも増して着実に具体的な改善方策を進めるため、帯広市全体の正答率を公表することとしたことや期限付き教員の配置状況と今後においても継続して正規職員の配置を要望することなどを答弁しております。次に、楢山議員に学校での授業における学校支援ボランティアによる授業中の学習支援、放課後の学習サポートなどの学習支援の状況と多様な学習支援の充実に向け、市内での情報交換などに一層努める旨の答弁をしております。次に、大塚議員に神戸市での事件を受け、学校や保護者へ注意喚起や今後においても、関係機関との連携を密に不審者等についての正確な情報を教員や保護者へ迅速に発信することや体育・道徳・特別活動など中心に安全教育を行い、自己の回避能力を高める取り組みを行っていることなどを答弁しております。次に、高田議員に空き教室の活用状況、適正配置の方向性、学校施設の複合化については、教育環境を損なわない範囲内で活用する考えや幼保小中連携事業の状況、土曜日も含め長期休業中や放課後など、子どもたちが有意義に過ごせるよう学校と地域が連携し、子どもたちを支えていく考えなど答弁をしております。次に、大竹口議員に小中学校での危険ドラッグに関しては、薬物乱用防止教育の状況、啓発状況と今後においてもこれまで行っている薬物乱用防止教室の中で取扱うよう外部講師に依頼するなどの答弁をしております。次に、今野議員に学校図書館の役割や整備や運営の状況と市立図書館との連携、ぶっくーる便の学級単位での活用の工夫などについて答弁をしております。次に、清水議員に教育委員会制度の改正について、首長との連携を一層図り、民意の把握・反映に努める考えと教育懇談会についてさらに幅広い意見交換の考えを、また、法改正は迅速な危機管理体制の構築を図ることも狙いの一つであり、適切に対応する旨の答弁をしております。次に、藤澤議員に学校の楽器の更新について、他の部活動とのバランスも考慮し、各校の配当予算の中で引き続き対応していくことを基本としながら、学校と相談の上、限られた予算の範囲の中で更なる工夫をし、対応していきたい旨の答弁をしております。次に、杉野議員に全国学力・学習調査と標準学力テストの違い、複数の調査の活用による幅広い角度での学力の捉え、こうした調査で捉えられない「よさ」を保護者等とも共有しながら未来を担う帯広の子ども達を育む考えと、35人学級について、義務教育は国や北海道が責任を持って行うものであり、引き続き北海道教育委員会へ35人学級の実現を要望していくとともに、職員の加配制度の有効活用、少人数での指導に努める旨の答弁をしております。次に、中村議員に子どもたちの学力の状況と学校図書館の整備状況、家庭での読書効果を保護者へ周知するよう努め、生きる力を育む考

えを、教育委員会制度の改正について、首長の教育委員会の連携強化と教育の政治的中立性や継続性・安定性の確保など、また、いのちの教育について、道徳教育において心の教育が重視されており、いのちの尊厳を実感できるよう、子どもたちの心の育成に努める旨の答弁をしております。次に、決算審査特別委員会では、高田議員ほか名から、体験学習、食育推進、アイヌ民族文化、学校プールの利用拡大、学校施設整備、学校給食の地元食材、就学援助の拡充、特別支援学級の教員の資格、知能検査、独自教材の積極活用、学校配当、ICT教材、特別支援補助員、子どもの道徳心、PTAの担い手などについて、平成25年度の状況と今後の考えなど多様にわたるご質問がありました。学校教育部に関する報告は以上であります。

葛西調整監

生涯学習部に係わります質疑概要についてご報告いたします。一般質問20名中5名、議案審査特別委員会12名中1名、決算審査特別委員会13名中4名の議員からのご質問がございました。議案書13ページでございます。一般質問では、鈴木仁議員のご質問で、歴史文化の継承、文化財の保存保護については、先人が築きあげてきた歴史文化の特徴を意識し、郷土を愛する心を次世代に繋げ、文化財の保護、伝承の必要性、重要性を見極めた上で継続した取組みが重要である旨の答弁をしております。次に熊木議員の質問の新総合体育館の建設につきましては、隣接公園の機能維持のほか、多くの駐車台数の確保を目指す方向性を示しまして、利用者のご意見をお聞きし、民間機関と相談協議の上、総合計画の位置づけを踏まえ、取組んでいく旨答弁しております。次に、今野議員のご質問に関しては、先ほど学校教育部で説明したとおり、市立図書館との連携、学校図書館との連携について答弁しております。次に、清水議員のご質問中、スポーツ合宿・大会誘致につきましては、実施団体からの情報収集、地元関係機関との情報交換等によりまして、誘致、受入れ活動に取り組んでいる旨、また、新総合体育館との係わりにつきましては、公式大会やプロスポーツ開催、障がい者の方々の仕様にも対応し、スポーツを通じた人づくりに視点を置いた取組みとする旨の答弁をしております。次に、藤澤議員のご質問で、帯広市の生涯学習の取組み、エンジョイス쿨の運営につきましては、より一層円滑な組織として機能するよう、さらに運営委員の皆さんのご意見をお聞きし、運営状況に係わる情報の共有化を図り、講師の方々と信頼関係を築いていくことが重要である旨の答弁をしております。議案書14ページ、議案審査特別委員会でございます。鈴木正孝議員から、スポーツ大会派遣支援事業費、アイスアリーナの冷凍機についてのご質問、決算審査特別委員会では、大塚議員ほか3名から、生涯施設のトイレ、グリーンステージの老朽化、

動物園施設整備、動物展示の考え方、道内動物園、水族館との相互連携、とかちプラザの指定管理者、スポーツ合宿、選手育成、文化賞・文化奨励賞のあり方について、平成25年度決算の状況や今後の考え方などのご質問がありました。生涯学習部については以上でございます。

田中委員長
市之川委員

これから質疑に入ります。

吹奏楽の楽器について、学校側から足りない楽器や破損して使えない楽器があるなどの要望があった場合、比較的早い時期に購入してもらえるのでしょうか。

大林 課長

基本的には学校配当の予算を消化する、もしくは部費の中で買っただけのが基本でございます。楽器によってはかなり高額なものがございますので、相談を受けるといこともございますけれど、基本的にはそういう形で対応していただいている状況です。

市之川委員
伊藤 委員

分かりました。

2点補足説明をお願いします。稲場議員から特別支援教育についての質問と、小森議員から文化賞・文化奨励賞のあり方について質問があったようですけれど、どのような質問の内容だったかお聞かせいただければと思います。

葛西調整監

小森議員の質問のご趣旨でございますけれど、26年度の文化賞の受賞者の該当者なしでございましたけれど、過去の文化賞・奨励賞で該当者なしということがございました。惜しくも該当しないという方々につきましても、賞賛に値する方もいらっしゃるのではないかと、褒め称える制度をもっと活用して、広く表彰することも大事ではないかというご趣旨でございました。市として他市の状況や文化団体の表彰状況を見極めた上で適切に検討してまいりたい旨の考えをお示したところでございます。

佐藤 課長

特別支援教育についてのご質問の内容でございますけれど、特別支援学級の人数が毎年増えてきている中で、教員が特別支援学校の免許を有して、専門性をもって教育をしているのかということに焦点をあてた質問でございました。小学校、中学校において特別支援学級に従事する教員が特別支援学校の免許を有していなければならないというものはございませんけれども、専門性を重視するということにおいては、免許を取得するということは大変有意義なことでございます。北海道でもそのために現役の先生に特別支援学校の免許を有するような講習会を実施しておりますし、大学でもそのような制度が実施されておりますので、そういった情報を適宜流し、教育委員会の中でも特別支援学級の専門性を高めるような研修を努める旨をお答えしております。

伊藤 委員
田中委員長

分かりました。

私からも1点だけ、大塚議員の生涯学習施設のトイレについては、

どのような趣旨のご質問だったのか教えていただけますか。

葛西調整監

古い施設もございますので、和式トイレが使いづらいというのが一番の趣旨でございまして、順次洋式化に改修を進めておりますが、もっと進めてほしいという趣旨でございました。

田中委員長

生涯学習施設の和式と洋式の比率は今どのくらいですか。

葛西調整監

おおよそですけれども、半分半分くらいです。

田中委員長

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

その他（２）今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

野原調整監

学校教育部の今後の事業予定についてご説明いたします。議案書は17ページになります。まず、企画総務課の事業で教育懇談会を10月29日、11月6、7、10、16、17日19時から、日曜日は14時から、市内コミセン6カ所で開催いたします。情報提供や市民の皆さんとの意見交換を行うことで、教育に関する理解や関心を高めるとともに、今後の教育行政の参考とするため行うものでございます。学校教育指導室からキッズタウン2014を11月29日土曜日10時から16時まで、とかちプラザで開催いたします。小学校3、4年生を対象に職業体験にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを考える機会を提供するものでございます。次に教育研究所から平成26年度JICA小学校における理科実験教育コース・コンピュータ活用研修を11月14日13時30分から、南アジア諸国の教育関係者8名が小学校理科におけるコンピュータ活用に関する研修を実施するものでございます。最後に特別支援教育研究大会を11月21日13時30分から、とかちプラザにて開催いたします。各学校における校内体制の充実を図り、教職員の理解を深め専門的知識や技能の向上を図ることを目的に開催いたします。以上です。

葛西調整監

議案書18ページでございます。生涯学習部に係わる事業について掻い摘んでご説明いたします。最初に文化課の事業でございます。文化賞贈呈式を11月3日文化の日に予定してございます。委員の皆さまにもご案内申し上げているところでございますが、よろしく願いいたします。次に図書館の最後のところですが、スペシャルトーク、ムーミン谷の冬の世界を11月30日に開催予定でございます。この後に帯広美術館で12月13日からムーミンの作者でありますトーベ・ヤンソン展が開催されますため、それにちなみまして講演会を開催する予定となっております。続きまして、百年記念館からは、アイヌ工芸の企画展が開催中ですが、それにちなんで刺繍体験、それから21ページの一番上にアイヌ模様のコースターを作る体験教室を企画してございます。それぞれ11月3日と15日に予定してございます。次に動物園の夏期開園が11月

3日に最終日に向かえ、入園料が無料となっております。続いて22ページのスポーツ振興室関係では、フードバレーとまちマラソンが11月2日に行われます。ワールドカップスピードスケート競技会が11月14日から16日まで明治北海道十勝オーバルで開催予定でございます。なお、お手元にマラソン大会のプログラムとワールドカップのチラシを配付してございますので参考にご覧いただければと思います。また、ワールドカップの招待券を後ほどお送りする予定ですのでよろしくお願いいたします。

田中委員長

これから質疑に入ります。

私から1つだけお伺いします。図書館のスペシャルトーク、ムーミンの講演会について、この後、帯広美術館でトーベ・ヤンソン展を開催するということですね。この内容を見ると勝毎と図書館の共催ということですが、帯広美術館と共催でも講演でもいいので、美術館と生涯学習施設は同じ場所にあるので何か協力できないかと思っております、何かお考えがあればお聞きかせいただきたいのですが。

敦賀 室長

前任で申しわけございませんが、まず、トーベ・ヤンソン展について、帯広市も共催に入って一緒に行っております。道立帯広美術館の取組みにつきましては、帯広市の所蔵している作品、道立美術館の所蔵している作品を相互に融通し合いながら、百年記念館を始め管内の美術館でも相互に展示会を行うといった取組みもでございます。帯広市でも百年記念館に所蔵している作品がありますので、美術館に持ち込み学芸員にコーディネートするなど、お互いの学芸員同士が情報交換や学習をして、より新たな取組みをするということもございます。

田中委員長

ぜひ前向きに係わっていったらいいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

市之川委員

百年記念館の11月16日の音楽講演会の音楽研究者3名というのは市内、あるいは管内、または外部の方ですか。

葛西調整監

資料がなく申しわけございませんが、次回お知らせいたします。

市之川委員

分かりました。

田中委員長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(3)寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

大林 課長

学校教育課から寄附について1件ご報告いたします。帯広市の〇〇〇〇様から、10月20日に翔陽中学校の教育環境整備のためとして現金100万円のご寄附がございました。教育環境整備費として12月議会に補正の予定でございます。以上です。

葛西調整監

百年記念館の寄附でございます。帯広市にお住まいの〇〇〇〇様より、大正7年11月28日現在と記された伏古旧土人開墾組合事

務引継書をご寄贈いただきました。帯広町と書いてある罫紙20ページの書類でございまして、貴重な資料でございますので、博物館資料として保存活用してまいりたいと考えてございます。以上です。

高橋 園長

動物園から動物2件の寄附についてご報告いたします。1件目は、ホッとちかちサマーフェスタ実行委員会実行委員長、大塚哲也様より、9月に行われましたサマーフェスタ中にバザーを行い、その収益金を活用し、9月28日にハリスホーク1羽を動物園の展示動物充実のためという趣旨でご寄附いただきました。もう1件は匿名でございますけれど、9月30日にラマ1頭、こちらも同じく展示動物の充実という趣旨でご寄附いただきました。以上です。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局からその他説明事項はありますか。

事 務 局
田中委員長

ございません。

ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

次の日程第7の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第2号により秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱います。

これより会議を秘密会といたします。

(以下、非公開)

田中委員長

事務局からの説明は以上であります。この際、各委員からご意見、ご質問等があればお受けいたします。

各 委 員
田中委員長

ありません。

別になければ、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

以上で平成26年第22回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。